

【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡してください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

No.22-25
2022年 5月24日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央

新宿駅西口前の宣伝
23日

「復帰50年の沖縄と連帯、行動強化期間」宣伝行動

辺野古新基地建設反対、知事選勝利を 全国から改憲・軍拡を許さない声を



民意を無視して進められている辺野古新基地建設は、軟弱地盤などで工事が不可能であることや、米軍の事故・犯罪が野放し状態になっている元凶は、日米地位協定であると訴え、「辺野古新基地建設反対」、「日米地位協定の抜本的改定」などの署名を呼びかけました。

新日本婦人の会、全日本民医連、日本平和委員会、婦人民主クラブらの各代表がハンドマイクで訴えました。各弁士は、辺野古新基地建設反対を呼びかけ、岸田政権の敵基地攻撃能力や軍事費 GDP 比 2%の提言などの大軍拡を批判し、軍事費削ってコロナ対策など社会保障、教育費などに回すことを訴え、7月の参院選や沖縄県知事選で改憲勢力に勝利すことを呼びかけました。

通行人が配付ビラを受け取り、「辺野古新基地建設反対」「オスプレイ配備反対」などの署名に応じてくれました。

安保破棄中央実行委員会は5月23日、東京・新宿駅西口で「復帰50年の沖縄と連帯し、基地のない平和で誇りある豊かな沖縄をめざす行動強化期間」のとりくみとしての宣伝・署名行動を行いました。

安保中央の湯浅政晴事務局次長は、沖縄復帰から50年になるが在日米軍基地の70%が沖縄に集中し、強化されていることを指摘。

辺野古新基地建設を許さず憲法が生きる沖縄と日本を！ in 東京

5月26日(木) 18:00～日比谷野外音楽堂&銀座デモ

※17時30分開場(先着順) ※新型コロナの感染状況により変更することがあります。事前に総がかり行動実行委員会のHP等でご確認ください。

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

馬毛島

新基地建設に伴う環境アセス 「準備書」に対する意見書送付を



防衛省に買い取られた「馬毛島」

馬毛島新基地建設は、現在、環境影響評価(アセスメント)が終わっていませんが、工事契約が進められ、すでに2021年度の契約総額を超える435億円超の契約がこの4月に強行され、今年度中の本体工事の着工がねらわれています。

防衛省は4月19日、馬毛島新基地建設にともなうアセスの「準備書」を公表し、国民からの意見を受け付けています。アセスの手続きは、①方法書②準備書③評価書と段階をへて行われ、「方法書」に書かれた内容で調査をした結果をまとめられたものが「準備書」です。これを国民の意見を聞いたうえで修正し、「評価書」にまとめ、問題ないとされた場合は事業が始まるというのが基本的な流れになっています。

◆提出期限、方法と提出先

2022年6月2日(木)までに郵送(当日消印有効)、FAX又は電子メールで送れます。

住所：〒863-0901 熊本市東区東町1-1-11 熊本防衛支局建設計画官付 FAX：096-368-6970

電子メール

：ks-km-tyoutatsu@kyushu.rdb.mod.go.jp

◆意見書の提出に必要な事項

①意見書を提出しようとする者の氏名及び住所(法人その他の団体にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)